

平成 26 年 8 月 5 日

各 位

会社名 出光興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 月岡 隆
(コード番号：5019 東証第1部)
問合せ先 経理部 I R 室長 橋床 泰治
(TEL : 03 - 3213 - 9307)

北米ファンデール LPG 基地からブタン輸出を開始します
～シェールガス由来を含む LPG の輸出を 2 年前倒しで実施～

出光興産株式会社(社長:月岡 隆、以下「当社」)とアルタガス株式会社(会長兼 CEO: David W. Cornhill、以下「アルタガス」)による共同出資会社 AltaGas Idemitsu Joint Venture Limited Partnership(以下、「合弁会社」)が株式を保有するペトロガスエナジー株式会社(社長兼 CEO: Stanley Owerko、以下「ペトロガス」)は、米国西海岸にあるワシントン州のファンデール LPG 基地から日本向けにブタンの輸出を開始します。

なお、本件による当社グループの 2014 年度連結業績見通しの変更はありません。

1. 背景

当社は、世界のエネルギー需給構造の変化をとらえ、エネルギー源を多様化し、安定供給を図っていくために、中期的な課題としてガス事業への参入検討を進めており、カナダのアルタガスと設立した合弁会社は、LPG・原油のマーケティング・貯蔵・輸送などを主要な事業とするペトロガスに資本参加しました。

このほど、ペトロガスが米国西海岸のワシントン州ファンデールにある LPG 基地を取得し、LPG 生産(分留)設備^{※1}、LPG 物流設備^{※2}と、当社の販売ネットワークがつながり、米国西海岸から日本・アジアへ LPG を輸出する体制が整い、計画より 2 年前倒しでブタンの輸出が実現しました。

カナダ・米国のバッケンを始めとしたシェールガス由来を含む LPG を調達することは、供給ソースの多様化だけでなく、豊富なガス生産量に裏打ちされた供給安定性・日本までの輸送距離の近さに伴う経済性の面でも従来と比べて優位性があり、日本のエネルギーセキュリティに貢献するものと期待しております。

当社は、グループ企業に、世界の LPG 海上貿易シェア 15%を取り扱い、大型冷凍 LPG 輸送船 21 隻の船隊による海上輸送インフラを持つアストモスエネルギー株式会社(以下、「アストモス」)を有すると同時に、石油化学事業で LPG を石油化学原料として使用するユーザーでもあります。今後は、石油化学事業の競争力強化とともに、グループ企業の連携をさらに深め、生産者から消費者まで LPG バリューチェーンを一気通貫でつなぎ、「最強の LPG 事業グループ」を目指してまいります。

※1 LPG 生産(分留)設備はアルタガスが所有

※2 北米内の LPG 物流設備はペトロガスが所有し、海上輸送はアストモスが所有

2. 取引の概要

シェールガス由来を含むカナダ・米国産ブタンは、ペトロガスがファンデール LPG 基地より出荷します。当社グループ企業のアストモスが 8 月上旬にブタンを積み込み、購入した後、海上輸送により、8 月中旬に当社千葉製油所へ搬入します。当社はアストモスより購入し、石油化学原料用途とする予定です。

3. 今後の見通し

当面は、カナダ・米国産ブタンを輸入する予定です。

以上

(参考資料) ペトロガス ファンデール基地の概要

所在地	米国ワシントン州
主要設備	貯蔵用タンク（冷凍タンク、高圧タンク） 入出荷設備（海上、鉄道、トラック） 近隣製油所とのパイプライン（送ガス）設備